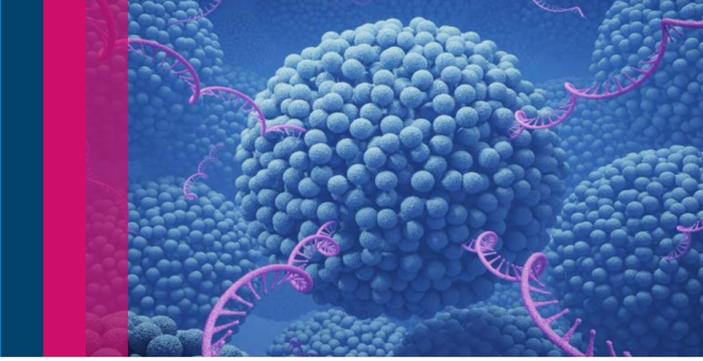


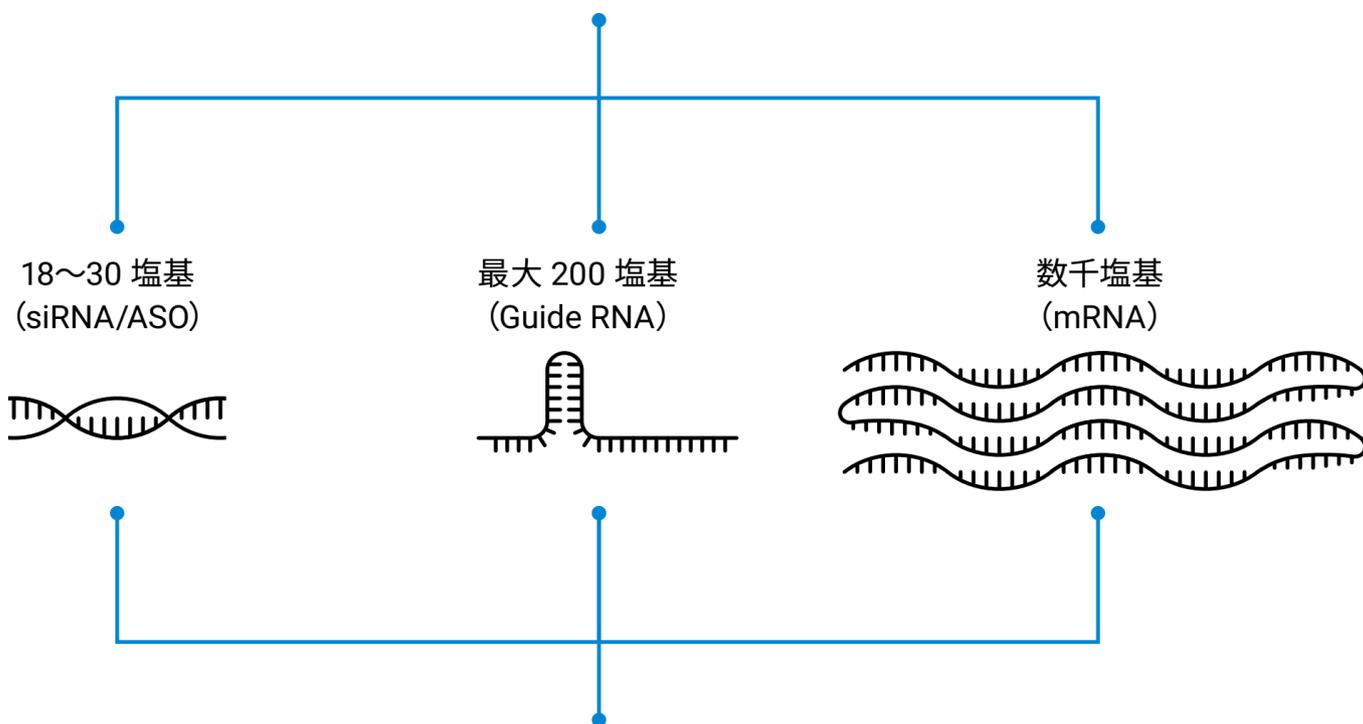
精製の多様なニーズに対応： siRNA から mRNA まで

アジレントはオリゴヌクレオチド分析の多様性を理解しており、さまざまな分子サイズや精製スケールに対応する最適な結合相とポアサイズを提供しています。



合成オリゴヌクレオチド

DNA/RNA



アジレントは、イオンペア逆相やアニオン交換などのオリゴヌクレオチド精製向けに、分析から分取スケールまで、拡張性に優れたカラム充填剤を提供しています。



PLRP-S によるイオンペア逆相

有機溶媒および揮発性のイオンペア試薬を使用します。LC/MS に最適です。この手法は高効率分離で最適な性能を発揮します。

3、5、8、10、15、20、30 μm 粒子の 7 種類



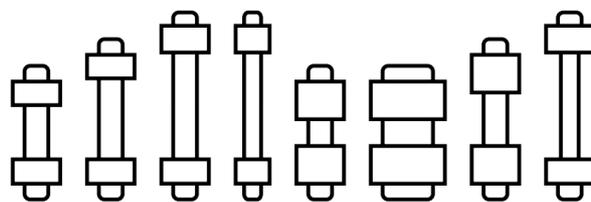
PL-SAX によるアニオン交換

化学的安定性の高い全多孔質ポリマーに共有結合した強アニオン交換基により、広い動作 pH と温度範囲を実現します。

5、8、10、30 μm 粒子の 4 種類

ポアサイズ	siRNA/ASO	Guide RNA	mRNA
100 Å			
300 Å			
1000 Å			
4000 Å			

適切なポアサイズを選択は、オリゴヌクレオチドなどの高分子において重要な要素です。アジレントは、分離能と結合能力のバランスがとれるように、幅広いポアサイズをご用意しています。



必要なスケールにおいて同じ品質の固定相を利用できることは、きわめて重要です。分析段階からセミ分取と分取、バルク材料まで、Agilent PLRP-S および PL-SAX カラムなら、製造のスケールにかかわらず、最適化された同じ結合相を利用できます。

詳しくはこちら

www.agilent.com/chem/oligonucleotide-analysis

DE04330994

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2022

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。



Agilent

Trusted Answers